

兵庫県保険医協会

但馬支部ニュース

No.114

2010年1月25日発行

発行 兵庫県保険医協会但馬支部
連絡先 〒668-0373 豊岡市但東町久畑1 2 6
高橋診療所 TEL/0796-55-0036 FAX/0796-55-0008

新年のごあいさつ



国民が主人公の社会保障制度確立 のため「現場の声」を訴えよう

支部長 新田 誠

協会但馬支部会員のみなさま、新年明けましておめでとうございます。旧年中は但馬支部諸活動にご参加・ご協力いただき誠にありがとうございました。

昨年をふり返ってとりわけ感じますことは、なんと申しても春から新型インフルエンザの感染拡大と緊急を要する対応に追われた一年でした。秋には民主党を中心に政権が代わりましたが、国民が主人公の医療、保健、福祉の社会保障制度が確立されていくよう、私共は地域医療を守る医師として連携し、主張することはこれからもしっかり主張していこうと思っております。

深刻な医師不足のなか、但馬の医療を守るためには病院や診療所、そ

して行政と連携することが極めて重要であります。

医師を増やすことは必要ですが、長い期間がかかります。いつの時代でも「医療」や「教育」は、国家の柱であり、誰もが認める社会的資本であります。

医療は「経費」や「消費」ではなく、未来への「投資」であり、最も大切な「資産」でもあります。あるべき望ましい医療、介護、福祉の姿に、しっかりと経済を合わせて欲しいものです。

まさに多事多難の現況ではありますが、但馬支部会員の皆様方には、これからも何卒温かいご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

第12回 医院運営なんでも懇談会

医療機関のトラブル対策

～患者さんとのトラブル対策を中心に～

但馬支部では12月19日、じばさん但馬で会員懇談会「医療機関のトラブル対策～患者さんとのトラブル対策を中心に」を開催、医師、スタッフら9人が参加した。

講師の大阪府保険医協会事務局次長の尾内康彦氏は、『日経ヘルスケア21』に「病医院トラブル110番日記」を執筆するかたわら医療機関のトラブルに数多く対応され、「なにわのトラブルバスター」と呼ばれている。



講師の大阪府保険医協会 尾内康彦氏

尾内氏は医療機関で起こるトラブルが増加の一途を辿っている背景について、次の4つの側面（社会情勢、医療制度や医療行政などの外部環境、医療従事者、患者）から分析した。特に患者の面からは、医療への対価を求める患者側の意識の変化、また医療費抑制策による医療環境の荒廃、全国的な医師不足などの現状を根本的に理解できていない患者が多いこともトラブルが増えている背景と指摘した。

トラブル対応のポイントは、初期対応が重要と強調。少々の法律知識、そして「誠実さと度胸」があれば、トラブルに対応できることが多いことを相談事例などを交え解説した。

最後に尾内氏は「開業医の場合は、自分だけで何とかしようとする傾向が強いため、問題が深刻化してからの相談が多くなる。どうしようもなくなってから警察や弁護士等に連絡するのはではなく、早めに手を打つことがトラブル解決のポイント。患者さんとのトラブル事例などでお困りの際には、まず保険医協会にご相談を」としめくくった。

参加者からは、「最近、待合室で堂々と携帯電話を利用するなど、マナーが悪い患者さんが増えてきている。院長として他の医療機関への被害を食い止めるためにも、気がついたときに出来るだけ注意するようにしている」、「今後の医院運営に活かしたい」などの感想が寄せられた。

※当日配布資料をご希望の方は、担当事務局：足立（Tel：078-393-1805）までお申し付け下さい。

幹事会だより

12月19日（土）じばさん但馬で第122回幹事会を開いた（4人出席）。以下、主に議論された内容を報告する

- 秋の組織強化月間では、勤務医対策として但馬地域の13の公立私立病院に支部長はじめ会員の先生方より勤務医の先生方へ入会呼びかける紹介状を頂いた。その結果、梁瀬病院の勤務医の先生に入会いただけた。また、豊岡病院、八鹿病院、日高病院、和田山病院は、医局への入会案内などの資料配布が許可された。
- 医師不足に直面する但馬の公立病院を守ろうと市民が主体となり病院を支援する活動が活発化している。支部としても現状の医療体制への市民の理解不足を補うため、市民公開企画などを行ってみてはどうか。
- 但馬地域の市民団体からの要請もあり、老人医療費無料化を実現した岩手県沢内村をテーマにした映画『いのちの山河～日本の青空Ⅱ』の上映会を市民公開企画として5月1日に開催予定。協会但馬支部も共催団体として登録する。
- 支部企画『胸部X-P読影と紹介症例検討会』に共催いただいている、中外製薬株式会社からの提案で、「肝炎」をテーマとした市民公開講座を6月頃に開催予定。
- 「職員接遇講座」など、各幹事から出された提案の具体化に向け準備を進めていく。

※次回幹事会は、2月27日（土）に開催予定。会員の先生は、どなたでもご参加いただけます。お問合せは、協会事務局まで。

協会の「休業保障制度」にご加入いただけない方や上乗せ補償をご希望の方にお勧めします。

所得補償保険

- ・うつ病等の精神障害による就業不能も補償
- ・入院による就業不能は1日目から補償
- ・自宅療養（5日目から補償）、代診もOK
- ・連続休業は最長2年補償
- ・再発の場合も含めて通算1000日まで補償
- ・地震などの天災によるケガも補償
- ・協会「休業保障制度」に関係なくお支払い

他の医師賠償責任保険にご加入でない先生方にお勧めします。

医師賠償責任保険

- ・医療上の事故、医療施設の事故を補償

先生方のご要望に応じて、協会の「所得補償保険」「医師賠償責任保険（医賠償）」が始まります。
2010年3月1日発足 初回発足分の受付を開始しています（1月20日締切）。
ぜひご利用ください。

胸部X-P読影と紹介症例検討会

第72回

日 時 3月25日(木) 午後7時～
会 場 公立八鹿病院 2階研修ルーム
(軽食あり、参加費100円)
トバザ - 公立八鹿病院 片山 覚 先生 他

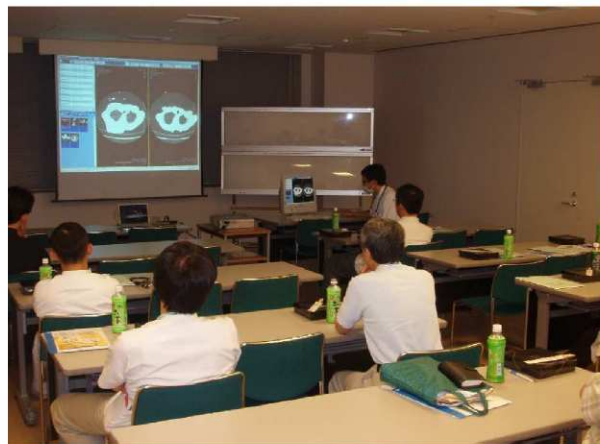
1989年から20年来70回続けております「胸部X-P読影と紹介症例検討会」を開催いたします。

読影会は第一線医療に従事する開業医の読影力を養い、日常診療に役立てることを目的に開いています。診療の中で気になった症例、病院へ紹介した患者のその後の経過や確定診断の症例などについて、片山先生の解説で丁寧にみていきます。

この間、当会に共催頂いている養父市医師会の先生方が輪番で八鹿病院への休日診療支援時に、重症や入院が必要な患者で、同病院に引き継いだ症例についても多数検討されました。

また、八鹿病院の電子カルテに接続し、開業医からの紹介患者の画像データや検査データをリアルタイムにスクリーンに映写し症例検討を行いました。

他病院や開業医からの紹介患者の症例も多数考察されるなど有意義な会となっています。日頃の疑問など何でも気軽に意見交換できる場としても好評です。フィルムの持ち込みも歓迎します。連休明けの夜遅い時間帯ですが、ご参加くださいますようご案内申し上げます。



前回(9月24日)の様様

さまざまな症例が検討された

共 催 養 父 市 医 師 会
八鹿病院新医師研修委員会
兵庫県保険医協会但馬支部
中外製薬株式会社

(連絡先：兵庫県保険医協会但馬支部 担当 足立 TEL 078-393-1805)